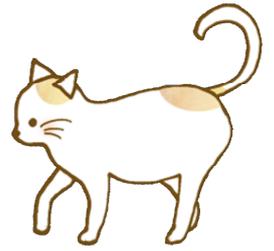




# 新屋図書館だより



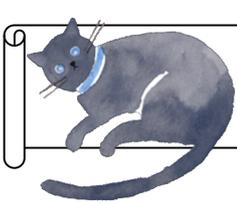
発行：秋田市立新屋図書館

秋田市新屋大川町 12-26 ☎ 018-828-4215

<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/1008848>

H31. 2月号

No. 207

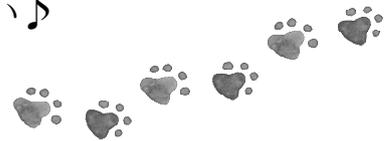


## 集え！猫好きたち！！



2月22日の“猫の日”にちなんで、今月は「ねこ特集」の資料展示を開催しています。さらに！利用者の方々に募集した自慢の猫ちゃん写真も一緒に展示中です。

猫づくしの資料展示は必見です！どうぞお楽しみください♪



【開催期間】 2月1日（金）～2月27日（水）

## 2月のおはなし会

2月2日（土）

14:00～14:40

「鬼は外」

～昔話・絵本・紙芝居～

おはなしの部屋

幼児～小学生

2月19日（火）

10:30～11:00

「わらべうた」

～親子でふれあい遊び～

おはなしの部屋

赤ちゃん～

## 新刊案内

### いつもと違う高齢者をみたら 第2版

荒井 千明／著

医歯薬出版株式会社 請求記号 493 (介護)

高齢者がいつもと違う症状だったら、すぐに病院へ駆け込みますか？食欲がなかったら？微熱が出たら？何を確認して、どんな対応をすればいいのか、介護施設で働く人や在宅で介護をしている人はもちろん、すべての人が把握できたら安心した社会になるのではないのでしょうか。



### 黒田式 ケア・ウォーキング

黒田 恵美子／著

合同出版 請求記号 493 (健康法)

特別な運動ではなく、普段の姿勢や日々の動作が、体に影響しないわけがありません。できることなら一生歩ける体でありたいとは誰もが願うこと。すでに腰痛・膝痛に悩む人から予防まで、毎日なげなく行っている「歩く」という行為を見直します。写真・イラスト多数掲載。

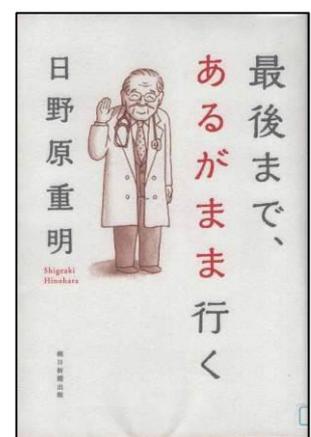


### 最後まで、あるがまま行く

日野原 重明／著

朝日新聞出版 請求記号 914 (エッセイ)

2017年7月に105歳で亡くなった、医師の日野原重明さんの最後のエッセイ集です。精力的に活動する日野原さんの日常が、優しく丁寧な文章でつづられています。最後のエッセイは、亡くなる2か月前の2017年5月下旬に口述筆記によって書かれています。



### 王さまになった羊飼ひ チベットの昔話

松瀬 七織／再話 イ ヨンギョン／絵

福音館書店 請求記号 E1 (絵本)

日本からは遠いチベットに伝わる昔話。動物の言葉をきくことのできる不思議な力をもらい、王子の病気を治し、幸せになる「聞き耳ずきん」のようなおはなし。この国ではどんな方法で治すのでしょうか。絵を描いたイ ヨンギョンさんは、子どものころ秋田に住んでいた方です。



## 図書館員（吉田 真理子）のおすすめ本

書名 絵本が目をさますとき

著者名 長谷川 摂子／著

出版社 福音館書店

所蔵 明德・河辺

請求記号 019 ( 児童文化研究 )



新米ママが質問の手紙を書き、返信する形で、絵本の魅力と子育ての面白さが語られています。答えているのは三人の子どものお母さんであり、保育士さんであり「めっきらもつきらどおどん」「おつきよちゃんとかっぱ」の絵本の作者である長谷川摂子さん。「おつきさまこんばんは」「三びきのやぎのがらがらどん」「てぶくろ」我が家でも何度読んだことだろう

と懐かしくなる絵本がたくさん登場します。

なぜ子どもたちがこれらの絵本を選び続けてきたのか、子どもの目の確かさと本の持つ力に目を向けさせてくれます。

わが子に絵本を読む時期が過ぎたかたにとっては、子どもと一緒に絵本を楽しむことのできたあの時間はなんてかけがえのない時間だったことかと思いださせてくれる一冊です。

## 図書館員（金谷 真美）のおすすめ本

書名 デリカシー体操

著者名 ヨシタケ シンスケ／著

出版社 グラフィック社

所蔵 新屋・明德

請求記号 726 ( イラスト・漫画評論 )



わかったことや気付いたこと、思ったことや実際にあったこと。こうだったらいいなとか、やだな、おもしろいなとか、著者自身が思ったことを描きとめたスケッチやメモがスケッチ集となって1冊の本になりました。

かなり厚めの本には、たくさんのスケッチが描かれています。こんな人いるかもな～だったり、わかるわかる！だったり・・・。自分もこ

んな風に人に見られて観察されてたらやだなと思いつつ、微笑みながら見ていました。

ヨシタケシンスケ好きにはたまらない、かわいくて面白くてページをめくる手が止まらないそんな1冊です。

私のお気に入り、エスカレーターにはりつく子どもと、風に飛ばされるサラダです。ぜひ探してみてください。

## 記事になったお酒の話題あれこれ・・・県産ウイスキーの夢・・・

県産ウイスキーの開発に向け、県と民間がタッグを組んだプロジェクトが進行中です。全国に飲食店を展開する企業「ドリームリンク」が主体となり、技術的なバックアップを県総合研究センターがおこなっています。ウイスキー造りには高い醸造技術が必要ですが、センターが過去のブランデー造りにより蒸留のノウハウと単式蒸留器（ポットスチル）を持っていたため、プロジェクトの実現が可能となりました。

2023年の出荷を目指しており、現在は試験蒸留器の規模を5リットルから100リットルへと拡大し、鹿角市に設置する蒸留所の設計にも取りかかっているそうです。

新屋は、醸造の街。  
新屋図書館には、酒の  
資料コーナーがあります。

【参考資料】  
秋田魁新報  
平成31年1月5日

## 平成ってどんな時代？・・・平成21年・・・

平成21年は2009年。アメリカでは1月にオバマ新政権がスタートしました。「核なき世界」演説などの新機軸を打ち出し、ノーベル平和賞を受賞しました。6月には歌手マイケル・ジャクソンさんが50歳の若さで死去。世界中でCDなどが爆発的に売れ、死の直前のリハーサル映像をつづった映画も大ヒットしました。

国内では、衆院選で民主党が大勝。来年度予算要求に盛り込まれた事業を判定する「事業仕分け」が注目を集めました。また、新型インフルエンザが大流行し、12月までに死者100人を超える事態となりました。県内でもインフルエンザが猛威を振るい、休校や学年・学級閉鎖が相次ぎました。ほかには、韓国人気俳優がドラマ撮影のため来秋。放映後、観光客が大勢訪れ経済効果を挙げました。また、チェコで行われたノルディックスキー世界選手権複合団体で本県出身の2選手が活躍。日本に14年ぶりの金メダルをもたらし、県民栄誉賞が贈られました。

【参考資料】『DATA秋田 さきがけ年鑑2010』『DATA秋田 さきがけ年鑑2011』

## 図書館員のひとりごと

市民活動や地域の共助公助に行動する友人が、年末に30人規模の蕎麦うちを企画。残念ながら仕事のため私は参加することができませんでしたが、出来上がった蕎麦をもらい大晦日に家族でいただきました。周囲の人に恵まれ感謝の年だったと深く感じながら味わいました。

理念はもちろん大切なことですが、行動せずに論じてばかり、これはどうなっているのかと自分がやらずに相手に問いかけるのみ、批判ばかりでは辟易してしまいます。去年は行動する友人から大いに刺激を受けました。次は自分の番。2019年は夢を行動に！！ (大石)

早朝のまだ薄暗い中、車を走らせていると、何かの動物がささーと風のように走り抜けて行きました。中型犬ほどの大きさで、しっぽはふさふさ…あれはきつねだったのでしょうか？

我が家の周りには野生動物がよく現れます。タヌキやカモシカ、リスなどなど。この間は「サル出没注意」のチラシが配られてきていました。動物を見つけるたびに家族全員小さな声で大騒ぎし、シャッター音の嵐。動物大好きな自分にとっては、なかなか魅力的な環境です。

これで家の中にヘビが入ってこなければ言うことなしなのですが…。 (近藤)